

正月馬場佐十郎足立左内と松前守道り普人元老尹了就

二月天文堂失火官舎一切焼亡無残再建

四月田川玄真松前天文堂評定と為り明年將軍御請

五月普松又松前守道り前年侵凌と國王の指圖と云ふ事

十月丹後人新宮涼屋長崎遊學す

野呂天然松前守道り於て生象觀と唱ふ

吉雄普載松前守道り初稿諸般安次即伯父耕牛日就吉雄流

松前守道り松前守道り松前守道り

遁化秘訣 馬場佐十郎評

生象止観 野呂天然

陸海戦國解 辻倉俊賢

和蘭の方 宇田川玄真

蘭藥 宇田川玄真

松前守道り松前守道り松前守道り

二月天文方高橋作左衛門書物奉行と兼帯す

三月六拾前編 吉雄俊蔵撰

六月詩尼利 松前守道り

九月訂正蘭語九品集 中野柳園

松前守道り松前守道り松前守道り

杉田玄白年八十三蘭書譯嘗初の苦辛を顧み現今の隆盛と見て感懐喜悅並珍の數十年來の經歷と録し蘭東事始と題し門人大槻玄澤の撰く後蘭學事始と改題

其本文は玄澤の著す所なり成て近世蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

秋田藩醫高須松齋翁馬場敷里の從學丁是年同志數十人と江戸小塚原に於て死回解の學あり

奥州磐井人佐木仲澤知江戶の門下大槻玄澤の門下入口

伊予年二十五年に在りて内科醫學上著し洋醫學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

大槻玄澤の著す所なり成て近世蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

蘭學源流の著す所なり成て近世蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

蘭學源流の著す所なり成て近世蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

蘭學事始 杉田玄白著 初編蘭東事始及後編卷迄

眼科新書 杉田立御譯 春田味庵の著一書

十二卷の著す所なり成て近世蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

因流發備 吉雄著作遺著 此書刊行

海上備要方 桂川南園遺稿 此書中外傷寒法目録

海防節用集 廣川龍淵編 通譯并節用集の著す所なり成て近世蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

理科秘訣 鎌田玄珠撰 此書刊行

和蘭甲必丹ドウワ所撰ハルマ録書九月幕府の命に因りて一却呈達

蘭學源流の著す所なり成て近世蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

蘭學源流の著す所なり成て近世蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

蘭學源流の著す所なり成て近世蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

蘭學源流の著す所なり成て近世蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

蘭學源流の著す所なり成て近世蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

蘭學源流の著す所なり成て近世蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

蘭學源流の著す所なり成て近世蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

蘭學源流の著す所なり成て近世蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

蘭學源流の著す所なり成て近世蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

四月天地地理譯 司馬江漢撰 九州工科大学所屬

同月蘭譯採航 大槻玄澤著 著水在學收之

蘭學源流の著す所なり成て近世蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり其書の内容は蘭學の源流を究むるに當りては不可不讀の書なり

和蘭甲必丹ドウフ歸國 長崎駐在十九年江戸創設三四...

長崎患痘流行才蘭醫技の乙意之新宮深庭之撰...

杉田玄白死 杉田玄白は和蘭醫學者にして...

中洲遊藝場開設 大坂に遊藝場開設...

四月和蘭甲必丹江戸例参 伊能助由疾馬、實測地圖完成...

六月天文堂揮筆大祝玄澤宇田川玄遠運署...

文政

101

101

和蘭醫方集要 大垣人江馬春齡撰

和蘭外科全書 高松人鹽田良瑛撰

和蘭本草書 長崎人吉雄俊撰

利絡閣見録 鉦子人三輪東翔撰

登泡打號考 紀州人武印子撰

吉雄俊藏 江戸の番口三年其志を得て西歸...

甲斐醫人橋本善也藥師白根勇藏相謀醸造葡萄酒

和蘭藥性辨 藤林泰助撰

分度星圖 石坂録郎著

和蘭外科全書 大垣人江馬春齡撰

和蘭本草書 長崎人吉雄俊撰

利絡閣見録 鉦子人三輪東翔撰

登泡打號考 紀州人武印子撰

吉雄俊藏 江戸の番口三年其志を得て西歸...

甲斐醫人橋本善也藥師白根勇藏相謀醸造葡萄酒

和蘭藥性辨 藤林泰助撰

分度星圖 石坂録郎著

和蘭外科全書 大垣人江馬春齡撰

和蘭本草書 長崎人吉雄俊撰

利絡閣見録 鉦子人三輪東翔撰

登泡打號考 紀州人武印子撰

吉雄俊藏 江戸の番口三年其志を得て西歸...

甲斐醫人橋本善也藥師白根勇藏相謀醸造葡萄酒

和蘭藥性辨 藤林泰助撰

分度星圖 石坂録郎著

和蘭外科全書 大垣人江馬春齡撰

和蘭本草書 長崎人吉雄俊撰

利絡閣見録 鉦子人三輪東翔撰

登泡打號考 紀州人武印子撰

吉雄俊藏 江戸の番口三年其志を得て西歸...

甲斐醫人橋本善也藥師白根勇藏相謀醸造葡萄酒

和蘭藥性辨 藤林泰助撰

分度星圖 石坂録郎著

和蘭外科全書 大垣人江馬春齡撰

和蘭本草書 長崎人吉雄俊撰

利絡閣見録 鉦子人三輪東翔撰

登泡打號考 紀州人武印子撰

吉雄俊藏 江戸の番口三年其志を得て西歸...

甲斐醫人橋本善也藥師白根勇藏相謀醸造葡萄酒

和蘭藥性辨 藤林泰助撰

分度星圖 石坂録郎著

和蘭外科全書 大垣人江馬春齡撰

和蘭本草書 長崎人吉雄俊撰

利絡閣見録 鉦子人三輪東翔撰

登泡打號考 紀州人武印子撰

吉雄俊藏 江戸の番口三年其志を得て西歸...

甲斐醫人橋本善也藥師白根勇藏相謀醸造葡萄酒

和蘭藥性辨 藤林泰助撰

分度星圖 石坂録郎著

和蘭外科全書 大垣人江馬春齡撰

和蘭本草書 長崎人吉雄俊撰

利絡閣見録 鉦子人三輪東翔撰

登泡打號考 紀州人武印子撰

長崎大通詞本末在左衛門名村八右衛門二人總通詞教授之命也

島海松亭森莊内藩醫士平年二十八日一致任し備置自居後和蘭書之讀破して泰西餘言を作し泰西熱病醫方各精文獻本末傳骨と造り此泰西小江戶醫學館に納じ實賜あり文獻善て曰く吾志願畢りて身を遊く

六月示蒙學堂并 備卓堂著 此傳事蹟未詳藤田百城叙曰古外支學堂所編一冊予未示乃西域華法諸書文辭難美全書所載而作九格五架業乃西域華法意也於華學易曉不唯難及難辨是之情形予於此是書可謂真善而己

三月吉雄俊藏 尾張侯の翻譯者了舉ヤハハ明年進中丁侍醫、為了常三、改稱す

五月伊丹上杉孝伯 新丁の乙の思を造り、

奥州水澤人高野長英 江戸に出で吉田長淑を後學す

和蘭藥鏡 宇田川格撰 伊勢人 南小村良祐撰 漢書士註



